

長野市大規模施設の長寿命化改修事業に係る実施設計技術協力事業者選定委員会

エムウェーブ長寿命化改修工事実施設計技術協力業務委託(施工予定者選定)公募型プロポーザル実施要領(案)についての御意見・御提案まとめ

実施要領				
No	該当箇所	意見	回答	修正箇所
1	P1,P2 「第1期工事、第2期工事」という文言について	唐突に出てきているため、示せる範囲でどこかに簡単に概要(注書き程度)を記載したら良いのではないかと。	工事を2期に分けて行う計画であることを記載した。	P1 1 趣旨・目的の段落の終わりに注書きを追加
2	P1 2(1)実施設計技術協力業務事業者(施工予定者)の定義 について	「業務」という文言が入っているところとないところがある。設置要綱と同じ文言を使ったほうが良いのではないかと。 時期により相手方の呼び名が変わることと、設置要綱での定義との関係もあり、全体を通じ、「施工予定者」の文言の使用箇所を整理した方が良いのではないかと。	「業務」を削除し設置要綱と同じ文言に修正した。 用語等の定義の内容を修正した。また、施工予定者の使用箇所を確認し、用語等の定義のとおり実施設計技術協力事業者(施工予定者)に統一し修正した。	実施要領全体において修正 P1 2 用語等の定義(1)及び実施要領全体において修正
3	P2 3(3)選定方法 について	「選定」の文言が二つ出てきており、市が選定するのか、選定委員会が選定するのか、関係が分かりにくい。	後段部分を削除し、市が選定することが分かりやすくなるよう修正した。	P2 3 実施設計技術協力事業者(施工予定者)(3) を修正
4	P15 1提出書類等 (3)ア(イ)技術提案 について	「枚数は任意」とあるが、参加者への過度な負担を与える可能性があるため枚数の制限を設けたほうが良いのではないかと。	枚数制限を設けるよう修正した(技術提案は全体で計10枚以内)。	P15 1提出書類等(3)ア(イ) を修正
5	P16 2技術提案等の作成 (1)ウ について	「なお、解決策が設計内容の変更を伴うものは除く。」とあるが、次頁4留意事項において、「設計への反映に必要となる提案部分に関する～」とあることから、設計内容の変更を伴う提案の可否が分かりにくいのではないかと。	基本設計内容の変更に関する提案も可能となるよう修正した。 なお、基本設計内容の変更については、設計者とも協議が必要になることから、例外事項の記載を追加した。	P16 2技術提案等の作成(1)ウ を修正 P18 4留意事項 に例外事項を追加
6	P16 2技術提案等の作成 (3)環境への負荷低減に関する提案 について	設備更新による省エネルギー効果(CO2削減効果)、耐用年数や維持管理、ライフサイクルコストについて提案書に明記してもらうことはいかがかと。	省エネルギー効果について、本来は求めたいところですが、今回のプロポーザルでは既存設備の改修であり、新たな熱源システムの提案を求めるものではありません。基本設計による熱源システムで機器仕様・能力を示しており、使用する機器が設計機器同等品と想定されることから、省エネルギー効果は些少な差と推測されるため、今回の提案書では求めないこととしま	P16 2技術提案等の作成(3) を修正

			す。 なお、機器の耐用年数やライフサイクルコストのうち、更新機器の維持管理に係るメンテナンス頻度と費用について、提案書に記述するよう文言を修正した。	
7	P16 2技術提案等の作成 (3)環境への負荷低減に関する提案 について	使用材料などの環境配慮について示していただくことはいかがか。埋め立て処分となるような建設廃棄物を発生させない工夫など。	リサイクル材の使用推進や廃棄物の分別再資源化など環境負荷低減に対処する提案を求めるよう文言を修正した。	P16 2技術提案等の作成(3) を修正
8	P16 2技術提案等の作成 (3)環境への負荷低減に関する提案 (4)地域貢献に関する提案 と P21 2評価方法(2) の評価点について	2「技術提案等の作成」の項の直下の記載にもあるとおり、本事業のポイントは、適正な品質、工事費の抑制、安全、工期内完成ができる事業者を選定することにあると認識している。 その上で、「(3)環境負荷低減」と「(4)地域貢献」と「(1)施工上の課題解決方法」、「(2)工程管理」、「(5、6)工事費」の項が同じレベルで提案を求めており、また、評価点についても、(3)、(4)が(2)と同じ点数となっていることに違和感を感じる。 例えば、技術提案は(3)、(4)をまとめて「その他の提案」とするか、提案書の枚数で差を付けるなどをしたほうがよいのではないか。 また、評価点についても傾斜を見直すなどしたほうが良いのではないか。	本事業において品質や工事費、安全、工期などの課題と同様に持続可能な社会の実現に向けて環境に配慮した提案も適切に評価することが重要であると考え、本事業のポイントに環境配慮について追記した。 その上で評価について、配点ウエイトを見直し修正した。 併せて、定量的に評価できる項目について評価方法を定性評価(5段階評価)から定量評価に変更した。	P16 2技術提案等の作成 を修正 P21,P22 2評価基準 評価方法と配点ウエイト を修正
9	P16 2技術提案等の作成 の記載事項と P21 2評価方法 の評価の視点について	P16「技術提案等の作成」で求めている事項と P21「評価方法」で記載されている評価の視点の内容に少し差異があるので、整合を図ったほうが良いのではないか。 また、P21「評価方法」において、(1)施工上の課題解決方法に工程管理(工期)に係る記載が含まれおり、切り分けたほうが良いのではないか。	整合するよう修正した。	P21,P22 2評価基準 評価事項 を修正
10	P19 4その他 の内容について	「質問への回答は…に限る。なお、…避けること。」とあるが、表現が分かりづらいため、なお書き以下を分けて記載したらいかがか。 前段の「回答」は市が行うこと、後段の「なお、」以下は参加者が行うことで、直接の関連性がなく分かりにくい。	箇条書きを用いて要点を整理し、分かりやすくなるよう修正した。	P19 4その他 を修正

11	P20 3その他(3) について	説明に用いる機材でプロジェクターは参加者が持参することとあるが、あまり現実的ではない。長野市に機材があるのであれば、大型モニター+モニターケーブル(HDMI等)ぐらいは会場に用意できないか。	市で用意できる機材を使用できるよう修正した。	P20 3その他(3) を修正
12	P21 1 審査方法(2) について	「各評価項目の評価基準により評価、評点を行う」とあるが、評価基準がどこにあるのか不明なため、「VI 2の評価方法に沿って(基づいて)評価、評点を行う」などに変えたらいかか。	文言を修正した。	P21 1 審査方法(2) を修正
13	P21 1 審査方法(3) 順位得点について確認	各委員の点数の合計に加算されるということか。	順位得点は評価点の合計に加算するのではなく、評価点が最も高い者に2点、次に高い者に1点を配点する。	—
14	P21 2評価方法 施工上の課題 「屋根改修工事」と「設備機器の更新」について	「品質」という文言をどこかに加えたらいかか。(P16の(1)ア及びイに「品質」という文言があるため)	P16 2技術提案等の作成(1)ア及びイと整合するよう修正した。	P21 2評価基準 評価事項 を修正
15	P23 「価格項目」の計算について確認	計算は事務局で行い、ヒアリングの際には委員の採点表に予め記載されているとの認識でよろしいか。	事務局にて計算を行い、採点表にあらかじめ記載する。	—
16	P23 「価格項目」の「評価点」の欄について	評価点の欄の記載は「算定式による」とあるが、「価格評価算定表による」のほうが良いのではないか。	文言を修正した。	P23 「価格項目」の「評価点」の欄を修正

様式

No	該当箇所	意見	回答	修正箇所
1	様式 11 と様式 12 「施工予定者」という文言について	この時点ではまだ「施工予定者」になっていないのではないか。	この時点での相手方の呼び名に文言を修正した。	様式 11(基本協定書(案)) 様式 12(設計協力協定書(案))